

このチラシは、伊丹市議会議員“相崎佐和子”が、市政情報などをお届けしているニュース紙です。

毎月発行（年4回はA3・その他はA4）しており、ポストイング・駅やスーパーマーケット前での配布・郵送などでお届けしています。



相崎佐和子

## 議員視察は意味があるのか？！

「議員の視察」。どんなイメージをお持ちでしょうか？「税金をつかって旅行しているだけ？」「役に立っているの？」・・・実は私も、議員になる前は同様の印象を抱いていました。

そして議員になり、実際に議員視察を経験して・・・今は「**取り組み方次第で、視察は有意義になる**」と感じています。確かにボンヤリ行くだけでは、税金ドロボウの旅行になる。しかし、入念に下調べし、有益な情報を得るべく臨むと、議員視察は有意義なものになり得るのです。もちろん、新聞やインターネットで調べたり、電話で問い合わせるだけでも一定の情報を得ることは可能ですが、現地に足を運んで生の質疑応答を重ねることで、現場ならではの多くの事柄を得られるのも事実です。

そこで私は、**過分な視察は見直した上で、視察を活かす工夫を重ねるべきだ**と考える次第です。**入念に下調べし、めいばい見聞し、市民に報告し、市政に活かしていく**ことで、伊丹のよりよい街づくりに役立てていく決意です。

ということで、さっそく8月4～5日に行った視察をご報告いたします。

※約2年前に同様の記事を書きました。少し期間があいたので、再度想いを綴った次第です。

## 防災は小学校区単位で！ ～千葉県市川市～

### ■総務政策常任委員会で視察へ！

8月4～5日、**総務政策常任委員会(相崎は委員長)**で視察に行きました。

上記で「議員視察はキチンと報告します」と豪語したゆえ、以下ご報告いたします。

### ■市川市の地域防災！

1日目は**千葉県市川市**へ。視察内容は「**地域防災の取り組み**」です。市川市は人口約46万人。千葉県北西部に位置し、江戸川を挟んで西隣は東京都江戸川区・葛飾区です。



「防災」なるものは、地域にあった手段が個々に展開されねばなりません。地域の状況は異なるので、防災対策も異なるはず。そこで**各自治体は「地域防災計画」の作成が義務付け**られています。ただ実際は、国のひな形に基づいた同じような内容の計画になっているのが現状。**いかに地域に真に必要な防災対策を講じるかが**大事な観点になるわけです。市川市の地域防災がそのまま伊丹に当てはまるわけではありませんが、熱心に地域防災に取り組む市川の事例から伊丹でも参考になるものがあるはずと、視察させてもらいました。

### ★小学校区防災拠点制度

市川市では、**小学校区を1つの拠点として地域防災**に取り組んでいます。小学校区単位で、防災訓練の実施・避難マニュアルの作成・防災会議の実施など行っています。なるほど、自治会単位では規模が小さすぎるし、市全体では規模が大きすぎるかもしれない。**小学校区単位はベストな規模**だと膝を打ちました。伊丹でも小学校区単位での地域防災をさらに強化したいものです。

